

咲明日ステーション交流会

11月9日（金）に本校にて「咲明日ステーション交流会」を行い、地域の未就園児親子13組に参加していただきました。生活文化科3年生（32名）が交流会に向けて、各コースの授業で学んだことを活かしておもてなしをしました。短い時間でしたが、様々な活動を行い楽しんでいただき、充実した時間を過ごすことができました。

【交流会の様子】



▲受付の様子

【実行員】



今年度最後の咲明日ステーション交流会でした。今回は、4世代（未就園児、高校生、未就園児の親、高齢者）での交流会を計画していましたが、高齢者の方の日程が合わず未就園児親子との交流会でした。6月にでた反省を生かして交流会を計画しました。当日は、笑顔溢れる会場となり、楽しい時間を過ごすことができましたと思います。

～カレーの歌（フードコース）～



ピアノとフルートの音に合わせて、みんなでカレーが出来上がるまでの歌を歌いました◎



～パラバルーン（ファッションコース）～

これまでの交流会で大人気だったパラバルーンをしました◎
綺麗な色の布、風船がフワフワ浮いて子供達の笑い声が絶えませんでした。



～パネルシアター（保育コース）



授業で学んでいることをいかして、「うさぎとかめ」の物語をパネルシアターで表現しました。歌を入れる工夫もしました。



～呈茶、防災食の紹介～



- 最初の交流会では自分から話しかけられず、どうすればよいか分かりませんでした。しかし、交流会を重ねることで、どうすればいいのか考えて行動することができるようになりました。でも、声かけが足りないことや、楽しませることができなかった部分もあるので、そこが課題です。
- 子どもとの関わり方がだいぶ変わり、慣れてきたと感じました。1回目の時は、緊張し成功するかどうか心配でした。2回、3回と回数を重ねるうちに緊張をすることなくしっかり対応することができるようになったのでよかったです。3回の交流会を終えてコースでも全体でも発表が良くなったと思います。
- 子どもとどのように関わったら仲良くなれるのか考えることができました。また、それを実践できたのでよかったです。親さんが常に子どもの様子を確認していたことから、目を離さないということ学びました。
- 喜んでもらえる交流会を企画することができて嬉しかったです。普段、交流する機会がないので私たちにとっても地域の方にとっても大切な機会だと思いました。これからも映明日ステーション交流会が続いて欲しいです。

